

2018年12月.txt

一般財団法人 日本食品検査
お客様

* .00''. 00''. 00''. 0 * .00''. 00''. 00''. 00''. 00''. 00''. 00''.

◆ JFIC_日本食品検査メールマガジン ◆ 発信日:2018/12/21

* .00''. 00''. 00''. 0 * .00''. 00''. 00''. 00''. 00''. 00''. 00''.

□□=====

1. 各事業所からのお知らせ ~12月号は仙台検査所よりお届け~

=====□□

今年は冬の訪れが遅く、なかなか寒くならない日々が続いていましたが、12月に入ってから急に寒くなってきた仙台です。山のほうでは雪の便りが聞こえてきたようです。

仙台検査所は主に東北6県を担当し、依頼者様に車でお伺いすることもありますので、スタッドレスタイヤも準備万端、この冬も安全運転で皆様のところにお伺い致します。

平成30年6月13日に食品衛生法等の一部を改正する法律が公布され、

「HACCPに沿った衛生管理の制度化」が盛り込まれました。

全ての食品等事業者(食品の製造・加工、調理、販売等)が衛生管理計画を作成することになります。

今回の制度化では認証の取得は不要ですが、当法人としてHACCP導入支援に力を入れています。

今ある仕組みや施設を活用し、ソフトでの対応をメインにコンサルティングを行っております。

些細なことでも構いませんので当検査所にご相談下さい。

また、今年度下期から仙台検査所でもHACCPセミナーを開催しています。

初心者でも取り組みやすい、1日でHACCPの基礎知識の習得、

危害分析やHACCPプランの作成実習まで行う基礎コース、

ある程度の経験のある方を対象とした、3日間かけてじっくり取り組む、

コーディックスのガイドラインに準拠した実践コースをご用意いたしました。

基礎コース及び実践コースは、年明けから各1回開催いたします。

是非お早めにお申し込み下さい。

□□=====

2. 試験関連トピックス

=====□□

●2018年の研究成果

学会発表等活動実績を更新しました

2018年12月.txt

⇒ <http://www.jffic.or.jp/news/20180416-1697>

当法人では、国内外の食品安全に係る法制度やお客様からのご要望等を踏まえて

研究テーマを設定し、基礎研究から受託分析まで一貫して行っています。

直近では、① 産地判別技術、② 食物アレルギー一斉分析法、

③ 麦角アルカロイド一斉分析法を研究テーマとして種々の検討を行ってきました。

これら研究成果の一部は、第114回日本食品衛生学会学術講演会(2018年11月、広島県)で

ポスター発表し、多くの方から大変貴重なコメントをいただくことができました。

今後、学会等で「日本食品検査」を目にしましたら、お気軽にお声掛けください。

以下に、上記研究テーマの概要を説明します。

① 産地判別技術

ワカメを対象に産地判別技術の開発を行いました。

当法人では高分解能質量分析計によって試料に含まれる内因性物質及び外因性物質の情報を

網羅的に取得し、線形判別分析により産地を判別する手法を採用しています。

この手法は、既存の元素組成や安定同位体比を用いた手法より判別率が向上することが分かりました。

ワカメ以外の食品にも適用可能な場合がありますので、お気軽にお問合せください。

② 食物アレルギー一斉分析法

食物アレルギーを引き起こす特定原材料7品目(卵、小麦、乳、えび、かに、そば、落花生)の

LC-MS/MS用測定条件を設定しました。LC-MS/MSを用いることで、これら7品目を同時に分析できるだけでなく、ELISA法で偽陽性の判定がされていた食品において偽陽性の判定を回避することができると考えています。

今後、受託体制が整いましたらホームページ及びメールマガジンにてお知らせします。

③ 麦角アルカロイド一斉分析法

麦角の中に含まれる麦角アルカロイド類はヒトの循環器系や神経系に毒性を示し、様々な健康被害を引き起こします。EUでは2012年から、穀物、穀物産物、動物飼料用の牧草、

イネ科牧草および配合飼料等を対象にモニタリングが実施され、

2015年には特定の未加工穀類に対し、総量として0.5 g/kgの基準値が設定されました。

わが国においても今後汚染実態調査に乗り出す動きがあるため、一斉分析法を開発しました。

お電話・メールでのお問い合わせは下記となります。

本メールに返信いただいても対応できかねますので、ご承知おきください。

2018年12月.txt

☆-----*

-----*

本年もご愛読くださいますて、ありがとうございました。
帰宅する時間が遅くてもクリスマスイルミネーションが癒してくれます。
皆様のところにもサンタクロースの祝福がありますように。

*-----☆

■このメールはメルマガ登録をしていただいた方及び当法人職員と名刺交換させて
いただいた方にお送りしております。

■配信停止は下記URLからお願いいたします。

URL: <http://www.jffic.or.jp/mailmagazine>

■当法人の個人情報の取扱いにつきましては下記のウェブサイトに掲載して
おります。

URL: <http://www.jffic.or.jp/privacy>

■配信元: (一財)日本食品検査 事業本部

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレビル3階

URL: <http://www.jffic.or.jp>

TEL: 03-6436-8771
